

第2回 秋田県港湾脱炭素化推進協議会及び各港部会 港湾脱炭素化推進計画の目標について



いい風吹いてる？

秋田県 建設部
港湾空港課



秋田県PRキャラクター「んだッチ」

協議会のスケジュール



CNP協議会
(R4.10.19)

協議会設置要綱

秋田県のCNPに関連した各部局講演

第1回協議会
(R5.5.23)

港湾脱炭素化推進計画への移行

1 港湾の概要

2 港湾脱炭素化推進計画の目標【温室効果ガス排出量の推計】

第2回協議会
(R5.11.6)

2 港湾脱炭素化推進計画の目標

【重要達成度指標(KPI)の設定】 【温室効果ガス吸収量の推計】

【温室効果ガス排出量の更新】

【水素・アンモニアの需要推計及び供給目標】

(参考資料) 水素・アンモニア等の供給等のために必要な施設の規模・配置

第3回協議会
(年度内開催予定)

3 港湾脱炭素化促進事業及びその実施主体

4 計画の達成状況の評価に関する事項

5 計画期間

6 港湾脱炭素化の実施に関し港湾管理者が必要と認める事項

港湾脱炭素化推進計画(案)

1.「秋田県カーボンニュートラルポート協議会」設置要綱の変更

- ・港湾法改正に伴い「秋田県港湾脱炭素化推進協議会」へ移行。

2.東北地方整備局 秋田港湾事務所からの情報提供

- ・「CNP形成計画」から「港湾脱炭素化推進計画」への移行にあたっての変更点、「港湾脱炭素化推進計画」作成マニュアルのポイント、CNP認証制度案の概要等について情報提供。

3.アンケート結果について紹介

- ・アンケート調査結果のとりまとめを紹介。
- ・アンケート調査結果を基に、CO2排出量実績(2013年、2021年)と2030年見通しを推計。
- ・2030年CO2排出量削減目標について、政府目標と同様に2013年比-46%とすることを目標として、秋田県重要港湾3港合同で総合的にCO2削減を目指すこととする。

4.カーボンニュートラルポートの事例紹介

- ・CCS(CO2回収・貯留)・ブルーカーボン、EVトラック、水素トラックなどの取組事例を紹介。

5.川崎重工(株)からの情報提供

- ・川崎重工(株)から国際水素サプライチェーン構築に向けた取り組みを紹介。

1. 計画対象となるCO2排出量の報告

- ・CO2排出量の整理区分の変更に伴うCO2排出量の更新
- ・CO2吸収量の考え方及び推計結果
- ・計画対象となるCO2実質排出量(排出量－吸収量)

2. 重要達成度指数(KPI)の設定

- ・KPI1 CO2排出量の削減
- ・KPI2 低・脱炭素型荷役機械の導入率
- ・KPI3 ブルーインフラの保全・再生・創出
- ・KPI4 港湾における水素等の取扱貨物量

3. 水素・アンモニアの将来需要ポテンシャルの試算

- ・化石燃料等が全て水素・アンモニア等に転換された場合の需要ポテンシャルの試算
- ・算出したポテンシャル及び水素・アンモニアの特性に基づく必要施設規模の算出
- ・秋田県重要港湾3港湾への施設配置(案)の検討

4. 今後のスケジュール

- ・港湾脱炭素化促進事業の把握整理及び計画への反映
- ・秋田県港湾脱炭素化推進計画(案)の提示

※各部会の意見や別途アンケート調査など踏まえて基礎調査はまとまったため、今回協議会及び次回協議会と部会は同時に開催する。

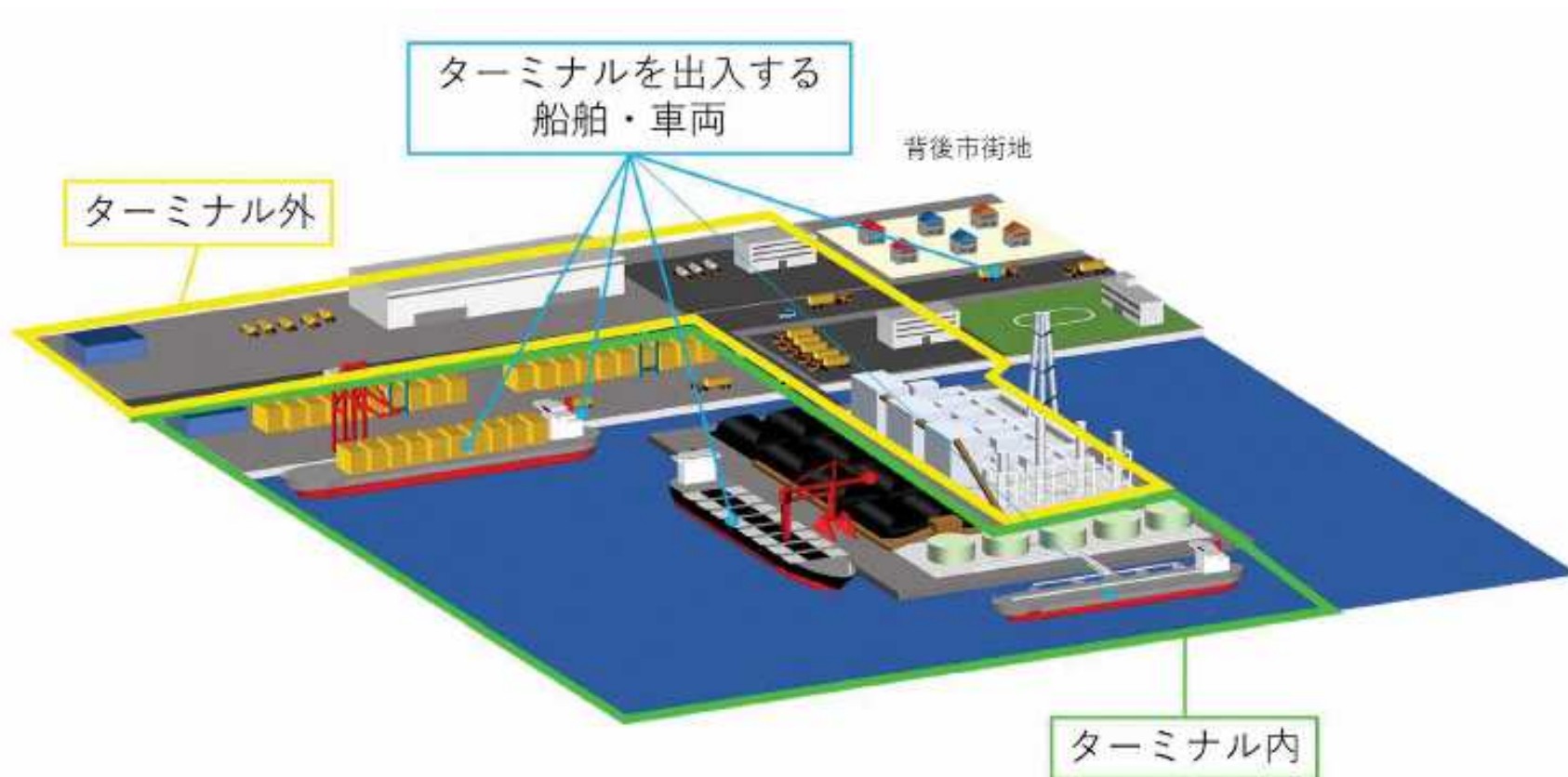
1. CO2排出量の整理区分について

※第1回協議会資料（再掲）



＜対象範囲＞

港湾管理者（秋田県）が管理する公共ターミナル内における脱炭素化の取組に加え、ターミナルを経由して行われる物流活動（海上輸送、トラック輸送、倉庫等）や港湾（専用ターミナルを含む。）を利用して生産・発電等を行う臨海部に立地する事業者（発電、鉄鋼、化学工業等）の活動を対象範囲とする。



ターミナル内：ふ頭、建屋、荷役機械、道路、マリーナ

ターミナル出入：船舶、車両

ターミナル外：港湾で貨物を取扱う関連事業者、港湾を利用して生産・発電等を行う事業者₄

1. 温室効果ガス排出量・吸収量の推計結果

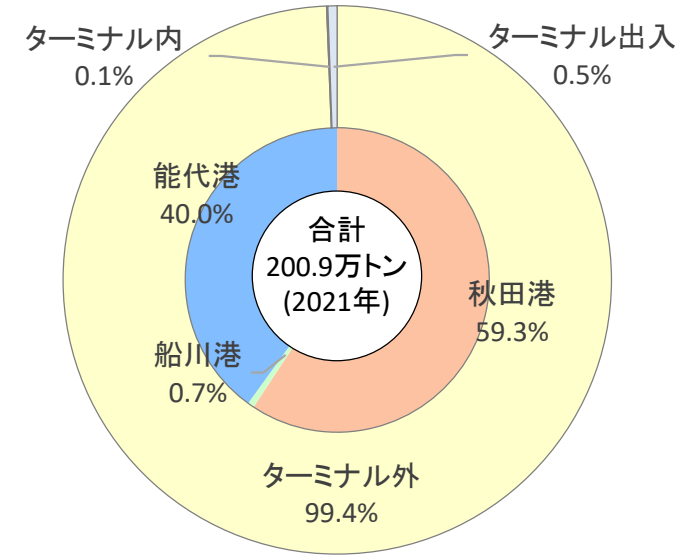
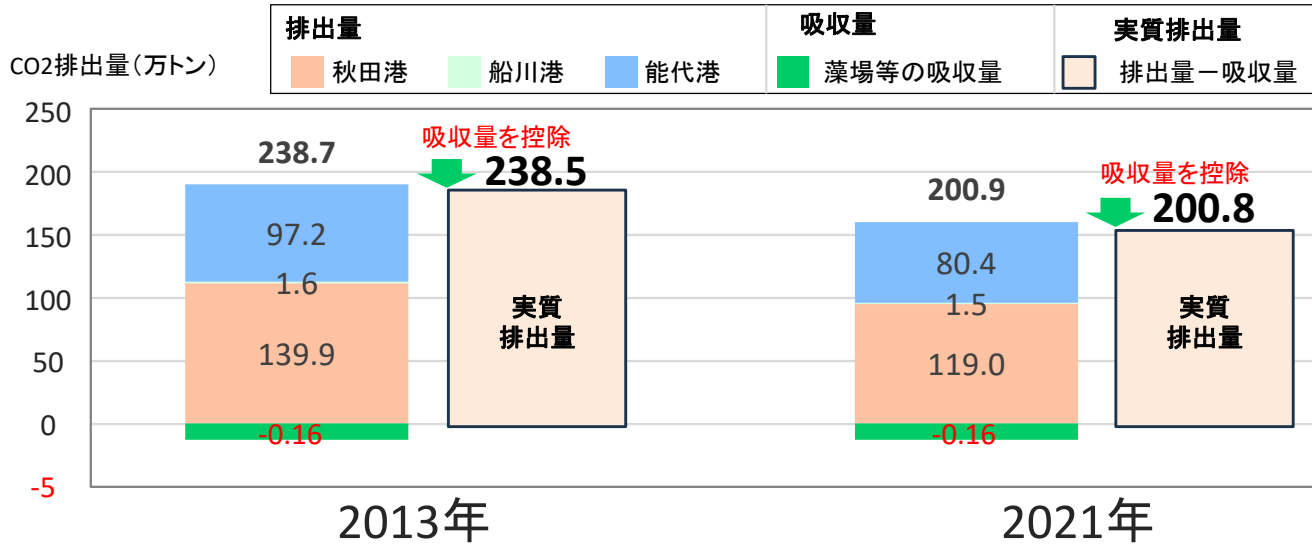
〈 温室効果ガス排出量・吸収量の推計〉

計画対象範囲内の温室効果ガス排出量及び吸収量の推計結果を示す。

秋田県重要港湾3港CO2排出量・吸収量

区分	港湾	CO2排出量 (千トン)		備考
		2013年	2021年	
ターミナル内	秋田港	1.57	1.63	ふ頭用地内公共施設、民間施設、マリーナからの排出量
	船川港	0.10	0.07	ふ頭用地内公共施設、民間施設、マリーナからの排出量
	能代港	0.06	0.04	ふ頭用地内公共施設、民間施設からの排出量
	計	1.73	1.74	
ターミナル出入	秋田港	6.59	6.59	出入車両、船舶からの排出量
	船川港	0.89	0.89	出入車両、船舶からの排出量
	能代港	3.39	3.39	出入車両、船舶からの排出量
	計	10.87	10.87	
ターミナル外	秋田港	1,390.76	1,181.99	対象区域内の事業者の電気・燃料使用に伴う排出量
	船川港	15.41	13.95	対象区域内の事業者の電気・燃料使用に伴う排出量
	能代港	968.12	800.67	対象区域内の事業者の電気・燃料使用に伴う排出量
	計	2,374.30	1,996.61	
吸収量	秋田港	0.21	0.21	対象区域内のブルーカーボン生態系、港湾緑地の吸収量
	船川港	1.30	1.30	対象区域内のブルーカーボン生態系、港湾緑地の吸収量
	能代港	0.12	0.12	対象区域内のブルーカーボン生態系、港湾緑地の吸収量
	計	1.63	1.63	

1. 温室効果ガス排出量・吸収量の推計結果



CO2排出量・吸収量の実績及び見通し

CO2排出量内訳（2021年実績） 単位：万トン

秋田県重要港湾3港CO2排出量・吸収量

区分	港湾	CO2排出量（千トン）		備考
		2013年	2021年	
実質排出量 (排出量－吸収量)	秋田港	1,398.71	1,190.00	排出量(内・出入・外)の和－吸収量により算出
	船川港	15.10	13.60	排出量(内・出入・外)の和－吸収量により算出
	能代港	971.46	803.99	排出量(内・出入・外)の和－吸収量により算出
	計	2,385.27	2,007.59	

2. 港湾脱炭素化推進計画の目標

＜ KPI設定項目 ＞

秋田県における脱炭素化に関する取り組みの総合的な達成状況を的確に把握するために、取組分野別に指標となるKPI（Key Performance Indicator：重要達成度指標）と具体的な数値目標を短期、中期、長期毎に設定した。

重要達成度指標（KPI）については、今後の水素、アンモニアの受入・供給の動向や技術進展等を踏まえて、計画見直しのタイミングで適切な指標の追加・修正を行うものとする（計画見直しのタイミングは次回協議会において審議予定）。

重要達成度指標（KPI）の設定（案）

KPI (重要達成度指数)	具体的な数値目標		
	短期(2030年)	中期(2040年)	長期(2050年)
KPI1 CO2排出量	128.8万トン/年 (2013年比46%減)	64.4万トン/年 (2013年比73%減)	実質0トン/年 (2013年比100%減)
KPI2 低・脱炭素型荷役機械導入率	62% (2021年時点 5%)	100%	100%
KPI3 ブルーインフラ等の保全・再生・創出	港湾緑地の整備 30ha	港湾緑地の整備 30ha 藻場等の創出 24ha	港湾緑地の整備 30ha 藻場等の創出 49ha
KPI4 港湾における水素等の取扱貨物量	検討中	検討中	検討中